

< 他集落との連携の事例 >

明るく住み良い、緑豊かな田園地帯を残す

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	埼玉県本 ^{ほんじょうし} 庄 ^{たかなぎ} 市 ^{いけした} 高柳の池下			
協 定 面 積	田 (100%)	畑	草地	採草放牧地
5.9 ha	水稻	-	-	-
交 付 金 額 47万円	個人配分			50 %
	共同取組活動分 (50%)	役員報酬		6 %
		農業生産活動の維持継続に係る活動経費		0 %
		共同取組等活動経費		44 %
		管理手当		0 %
協 定 参 加 者	農業者 27人			

2. 取組に至る経緯

- ・当集落は、水稻栽培を中心とした小規模な稲作経営が個別に行われてきた地域で、近年、高齢化に伴う担い手不足から、農地の維持管理が難しくなっていたため、共同作業や担い手への集積等、集落ぐるみでの活動が必要となっていた。

3. 取組の内容

- ・集落全体に高齢化が進んでいるため、認定農業者等担い手の育成や農業機械・農作業の共同化に取り組み、継続的な農業生産活動の体制整備を行ってきた。
- ・耕作放棄防止や水路・農道の維持管理など、多面的機能増進に向けた共同取組活動を実施し集落内の協力体制を築くとともに、集落全体の景観の維持をしようという機運が強まり、他集落と連携して水路の清掃を行う等、景観の維持向上に向けた積極的な取組が行われている。



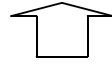
法面の草刈り風景



美しい景観が保たれている農用地

[集落の将来像]

集落全体に高齢化が進んでいるため、担い手等後継者の育成や農業機械・農作業の共同化、他周辺集落との連携等の事業推進を行うことによって、将来における農業生産活動の維持継続を確保する。



[将来像を実現するための活動目標]

共同機械の利用、他周辺集落との連携等について重点的に取組み、将来における農業生産活動の維持継続の確保を図る。

[活 動 内 容]

--- 農業生産活動等 ---

農地の耕作・管理(田5.9ha)

個別対応

水路・作業道の管理
水路1.6km、年2回
清掃、草刈り
道路1.2km、年2回草刈り

共同取組活動

農地法面の定期的な点検
(年2回及び随時)

共同取組活動

--- 多面的機能増進活動 ---

周辺林地の下草刈り
(約0.3ha、年1回)

共同取組活動

--- 農業生産活動の体制整備 ---

機械農作業の共同化
機械農作業の共同利用を
推進、目標0.6ha)

共同取組活動

他集落との連携
篠の池下集落と連携して、
水路の清掃・草刈りを実施
する。)

共同取組活動

4. 取組による変化と今後の課題等

- ・ 農業機械の共同利用に向けた話し合いが行われ、集落間の一体性が増した。
- ・ 今後は、共同取組活動を継続し、農業生産活動の体制整備を図る。また、更なる高齢化に備え、農業機械・農作業の共同化を推進するとともに、他集落と連携を取り合いながら、効率的な農業生産活動を目指す。

[平成21年度までの主な効果]

- 農業機械の共同利用による生産性の向上(当初 0ha、目標0.6ha、実績0.9ha(H20))
- 篠の池下集落との連携による用排水路の清掃実施